

新いりだ

統一地方選で野党共同候補を支援

県革新懇拡大世話人会議で決議

2019年1月27日(日) 第1856号
新いりがた社 新潟市中央区花園2-3-10 ☎025(247)6366
毎月第4日曜日 定価150円 1966年7月22日 第三種郵便物認可



統一地方選で野党共同候補支援を決めた会議＝19日、新潟市

新潟県革新懇は19日、新潟市内で拡大世話人会議を開きました。県内で進んでいる統一地方選県議選での市民と野党の共同候補擁立で、共同候補を積極的に支援し、勝利のために全力を尽くすことなどを決めました。

中村洋二郎代表世話人(弁護士)が「統一地方選、参議院選は安倍政権打倒のチャンスでもある。草の根活動の本家本元である革新懇が、今日の会議を安倍打倒の糧にしよう」とあいさつしました。

方針提案で栗田茂男事務局長は、「選挙イヤー」で革新懇の「3つの共同目標」実現をめざす国民運動と統一戦線を大きく発展させることを強調しました。県議選の1、2人区で市民と野党の共同による県議候補擁立の動きが広がっており、「バランスのとれた県議会を実現する県民の会」(県民の会)が「市民と野党との共同への協力を惜しまず、議会における与野党均衡を実現するために最大限の努力をします」と明記した政策協定書を策定し、これに同意した候補を23日に推薦発表することを紹介。「県民の会」推薦名簿を土台に「3つの共同目標」に一致する候補者は県革新懇として推薦し選挙活動に積極的に参加すること、特定政党を支持することはないが、「3つの共同目標」を掲げる政治勢力が躍進することを期待し、情報提供を積極的に行うことを提案しました。

栗田氏は、参院選でも市民と野党の統一候補早期実現のために、「私たち協力を始めることなどを県内野党に申し入れることも強調しました。」

「県民の会」の有田純也事務局長と日本共産党の樋渡士自夫県委員長(代表世話人)が特別発言しました。樋渡氏は、県議会で自公を8議席減らせれば過半数割れに追い込むことができ、22ある1、2人区のうち6割前後の選挙区で野党共同候補を擁立できる可能性があり、3人区以上でも他党の役員が共産党候補と挨拶回りにしていることを紹介しました。

新春特別企画

市民と野党の共闘で対談
新津地区平和連絡会・加藤事務局長
秋葉区9条の会・板橋事務局長
(2-3面)



新年の宣伝をする(左から)藤野、たけだ、鈴木、しぶやの各氏

新春宣伝

統一地方選・参院選勝利で 安倍政治終わらせよう

日本共産党新潟県委員会と新潟地区委員会は元日、しぶや明治県議(東区)、たけだ勝利県議候補(西区)、鈴木映市議候補(中央区)を先頭に、新潟市中央区の白山神社前で

方選と参院選でしっかりと民意を示して、ウソをつく安倍首相の政治を終わらせよう」と強調しました。

たけだ候補は、東電が二年後に柏崎刈羽原発を再稼働する方針を立てたことを批判。「県議選で共産党の議席を増やして、原発再稼働ストップの県政をつくらう」と訴えました。

鈴木候補は、安倍政権が強行した高度プロフェッショナル制度や入管法の改定を批判。「最低賃金を引き上げて、若い人が安心して生活できる世の中をつくりたい。どうか市議会に押し上げてください」と訴えました。

藤野議員は、国会で自公の議員が安倍内閣の下請け機関になっていることを批判。「立ったり座ったりするだけの議員はいらない。参院選で、県民の立場に立った議員を出そう。共闘のど真ん中で頑張る日本共産党をどうか大きく伸ばしてください」と訴えました。

対談 統一地方選・参院選勝利で安倍政治終わりの年に

秋葉区9条の会 板橋育夫事務局長(79歳)



対談する加藤氏(左)と板橋氏

新潟市秋葉区では、平和を求める新津地区連絡会、秋葉区9条の会、アフリカに毛布を送る会、戦争をさせない1000人委員会の平和4団体を中心に、一安倍9条改憲NO! 3000万人署名」で2万人の目標に対し、1万7000人(目標比83%)の署名を集めています。16年参院選、知事選、17年衆院選、18年知事選、市長選では、4団体が支援した野党統一候補が自民党系候補に5連勝しました。新津地区平和連と

秋葉区9条の会の事務局長に語り合ってもらいました。

▽共同相手を模索し 意気投合

加藤 2015年に安倍内閣が安保関連法案(戦争法案)を強行成立させようとしたとき、日本が戦争をする国になってしまうと強い危機感を持ちました。幅広い市民や運動団体が結集して活動しなければ阻止できないと思いました。9条の会の存在は知っていても誰に連絡をとればいいのか分からず、議員に聞いて9条の会の事務所を板橋さんと会い、共同行動しようと呼びかけ、毛布を送る会も賛同し、3団体の共同で出発しました。街頭宣伝は最初のころは週2回行い、関心の高さから新しい人が参加するなど毎回60〜80人位集まりました。



宣伝する加藤事務局長

15年9月に戦争法案反対の一点で開いた秋葉区集会には380人が集まり、新津地区内ではめったにない共同集会で会場いっぱい参加者になり、共同の力を示しました。結果的に戦争法を阻止できませんでしたが、16年1月に開いた意見交換会には、1000人委員会も共同に加わり、初めて4団体が結集しました。毎月19日の共同宣伝行動を中心に据え、戦争法を廃止するまでたたかい抜くことを確認しました。

16年3月に行った、市民連合@新潟の佐々木寛共同代表が講演した集会にも300人が集まり、安保法制廃止と安倍内閣への怒りが改めて共同集会で示されました。市民連合とも連携しながら運動をつくりだしていくことも重視しました。平和連絡会は、私の出身団体であるJR東労組が主導してつくった市民団体です。連絡会には自民党支持の人もいたので、自主的な市民運動を進めていくことが必要だったし、理解につながったのではないかと思います。

板橋 最初に加藤さんから話をもらったときに、共同して戦争法案を止めようと思って

いる団体があるのかと喜んで会いました。意気投合し、力を合わせれば止められるかもしれないと思いました。先ほど話が出た、戦争法強行可決後の16年1月に開いた集会の終了後には、残った人で意見交換会を開き、思っていることを率直に語ってもらいました。それが運動を続けていくための原動力になりました。意見交換会は今まで4回開きました。集まるうちにお互いが顔見知りになり、友達になっていききました。そのうちに選挙の課題も入ってきて一緒に取り組みました。

▽16年参院選いち早く野党共闘申し入れ劇的勝利へ

加藤 16年参院選のときにはいつまでも野党統一候補が決まらなかつたので、4団体で各野党の県連に早く決めてくれと申し入れました。初めてのことで各党も驚いたようです。そうしたこともあって森ゆうこさんが野党統一候補に決まりました。市民が一緒に上がった結果、成果を上げました。

盤盛り勝って2200票差で劇的勝利になりましたが、偶然にも秋葉区では2200票差で自民党候補に勝ちました。

▽衆院選4区内に共闘広がり圧勝

加藤 17年10月の衆院選に向けて、野党共闘を進めるためには、秋葉区内だけではだめだと、衆院4区内の平和団体に呼びかけて、集会「憲法を守れ!今こそ市民と野党の共闘を!」を加茂市で開きました。平和4団体を中心に市民団体が初めて一堂に会し、衆院選に向けた大きな一歩になりました。その後、市町村代表者会議が開かれるようになりました。

板橋 衆院選が迫る中、菊田真紀子議員の支持者の中から希望の党にいかないよう求める声が強くなり、支援者が希望の党に行かないよう申し入れました。最終的に、菊田議員は無所属での立候補を決断・表明しました。市民運動の後押しがあったからこそ決断だと思いました。

加藤 新潟市議会に4団体で「憲法を守り

市民と野党の本気の共闘で安倍9条改憲阻止 新春

平和を求める新津地区連絡会 加藤茂事務局長(67) >



スタンディング行動の参加者=12月19日、新潟市秋葉区

「ることについて」の意見書を可決してほしいとの請願を行いました。各会派に2、3回趣旨説明や要請に出向きました。最終的に1票差で否決されましたが、運動の成果が表れました。知事選では、4団体として選対をつくり、板橋選対委員長、私が事務局長を務め、秋葉区始まって以来の市民が参加する組織ができたのです。

▽市長選でさらに共闘進み区内で勝利
加藤 昨年10月の新潟市長選では、共闘が

より進み、合同選対を立ち上げました。森ゆうこさんの選挙のとき以来、各団体が参加した連絡調整会議が実質の共闘の役割を果たしてきましたが、合同選対の立ち上げによって選挙での共闘が大きく前進したと思います。



スタンディング行動の参加者=12月19日、新潟市秋葉区

板橋 市民団体は市民団体なりの役割を發揮しました。選挙告示前後から、毎日、朝夕スタンディングしました。結果は自民党候補に勝利しました。野党統一の小柳聡氏は、秋葉区に縁もゆかりも知名度もないのに勝利できたのは野党共闘の力ですね。

で、秋葉区では野党共闘の菊田候補が自民党候補に4区内では最高となる6800票差で勝利し、4区全体でも全市町で勝利して2万5千票差で圧勝しました。衆院選での勝利は決定打になりました。菊田さんは衆院選後も宣伝や集会にさらに参加し、私たちにいっそう寄り添ってくれるようになりなりました。



宣伝する板橋氏

板橋 市民団体は市民団体なりの役割を發揮しました。選挙告示前後から、毎日、朝夕スタンディングしました。結果は自民党候補に勝利しました。野党統一の小柳聡氏は、秋葉区に縁もゆかりも知名度もないのに勝利できたのは野党共闘の力ですね。

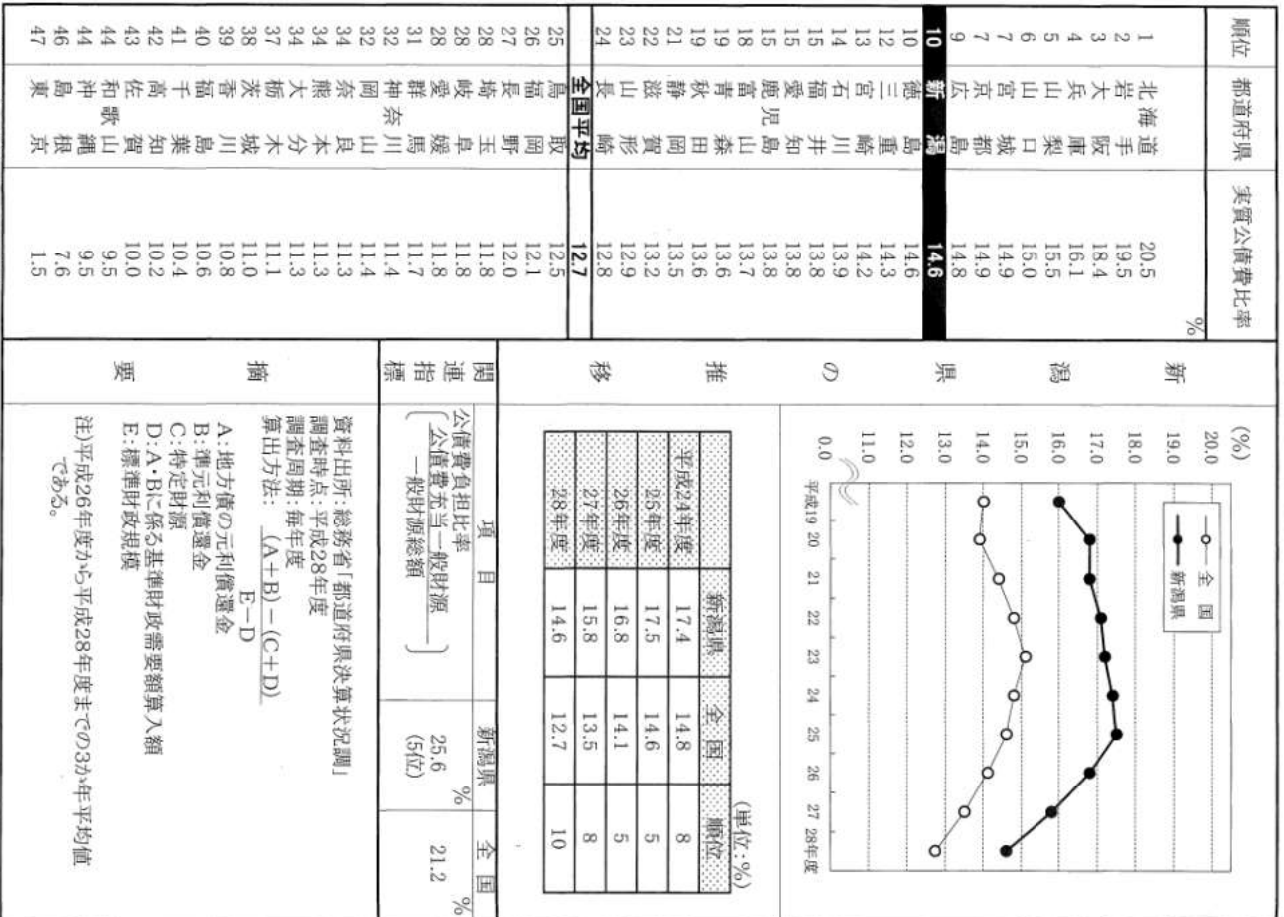
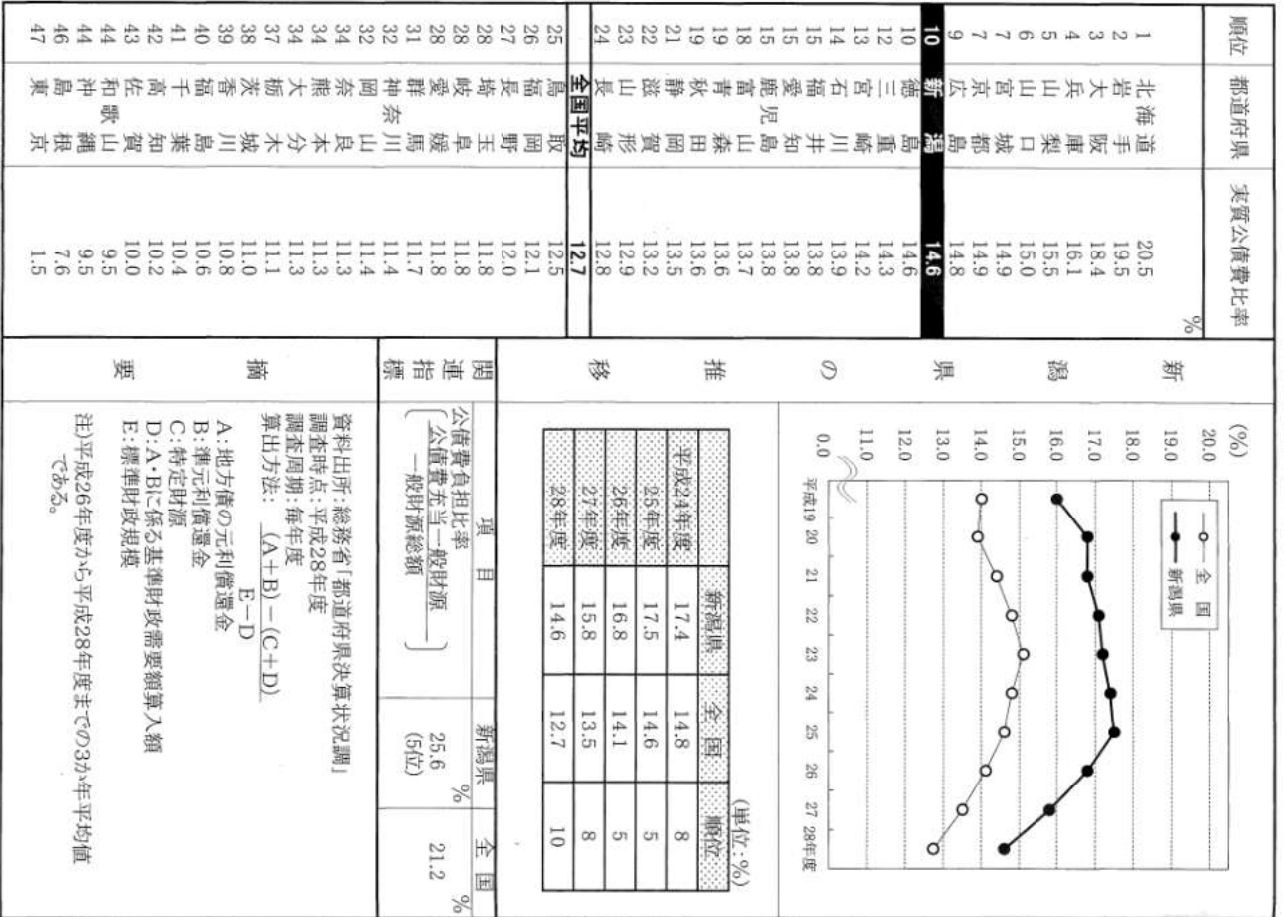
▽信頼築く努力としっかりした共闘で統一地方選・参院選勝利を
加藤 これまでの運動の前進や選挙での勝利の教訓として強調しなければならぬのは、それぞれの団体が意見、考えの違いがあっても、安倍9条改憲を許さないという強い決意のもと、雨の日も雪の日も街頭宣伝を中心に粘り強く共同行動してきたことだと思えます。の

べ70回、3500人が共同行動に参加してきました。県9条の会が発行したピラを2万枚もらい、4団体で分けして全戸配布しました。9条の会の講演会に他の団体が連帯あいさつし、アフリカに送る毛布を集める協力もしてきました。4団体で交流会をして、懇親会も3回やるなど信頼・連帯関係を築く努力をしてきたことも大きかったと思えます。

「新潟県100の指標」平成30年度版より (県発行)

98 実質公債費比率

98 実質公債費比率



| 順位 | 都道府県 | 実質公債費比率 % |
|----|------|-----------|
| 1 | 北海道 | 20.5 |
| 2 | 北海 | 19.5 |
| 3 | 道 | 18.4 |
| 4 | 手 | 16.1 |
| 5 | 阪 | 15.5 |
| 6 | 庫 | 15.0 |
| 7 | 梨 | 14.9 |
| 8 | 口 | 14.9 |
| 9 | 城 | 14.9 |
| 10 | 都 | 14.8 |
| 11 | 島 | 14.8 |
| 12 | 重 | 14.6 |
| 13 | 三 | 14.3 |
| 14 | 宮 | 14.2 |
| 15 | 石 | 13.9 |
| 16 | 福 | 13.9 |
| 17 | 愛 | 13.8 |
| 18 | 児 | 13.8 |
| 19 | 富 | 13.7 |
| 20 | 山 | 13.6 |
| 21 | 秋 | 13.6 |
| 22 | 静 | 13.5 |
| 23 | 滋 | 13.2 |
| 24 | 山 | 12.9 |
| 25 | 長 | 12.8 |
| 26 | 取 | 12.5 |
| 27 | 岡 | 12.1 |
| 28 | 野 | 12.0 |
| 29 | 玉 | 11.8 |
| 30 | 早 | 11.8 |
| 31 | 媛 | 11.8 |
| 32 | 馬 | 11.7 |
| 33 | 川 | 11.7 |
| 34 | 山 | 11.4 |
| 35 | 良 | 11.4 |
| 36 | 本 | 11.3 |
| 37 | 分 | 11.3 |
| 38 | 木 | 11.3 |
| 39 | 城 | 11.1 |
| 40 | 川 | 11.0 |
| 41 | 島 | 10.8 |
| 42 | 葉 | 10.6 |
| 43 | 知 | 10.4 |
| 44 | 賀 | 10.4 |
| 45 | 山 | 10.2 |
| 46 | 和 | 10.0 |
| 47 | 沖 | 9.5 |
| 48 | 島 | 9.5 |
| 49 | 東 | 7.6 |
| 50 | 京 | 1.5 |

| 項目 | 新潟県 | 全国 |
|-----------|------|------|
| 公債費負担比率 | 25.6 | 21.2 |
| 公債費充当一般財源 | (5位) | |
| 一般財源総額 | | |

| 項目 | 新潟県 | 全国 |
|-----------|------|------|
| 公債費負担比率 | 25.6 | 21.2 |
| 公債費充当一般財源 | (5位) | |
| 一般財源総額 | | |

資料出所: 総務省「都道府県決算状況調査」
 調査時点: 平成28年度
 調査周期: 毎年度
 算出方法: $\frac{(A+B)-(C+D)}{E-D}$
 A: 地方債の元利償還金
 B: 準元利償還金
 C: 特定財源
 D: A・Bに係る基準財政需要額算入額
 E: 標準財政規模
 注) 平成26年度から平成28年度までの3か年平均値である。

* 順位は数値の大きい方からつけています。

* 順位は数値の大きい方からつけています。